

## 月刊 *Medical Technology* 別冊 超音波エキスパート 10

### 血管エコーレポート集

松尾 汎 監修 佐藤 洋 編集



超音波エキスパートシリーズは、日頃それぞれの分野で活躍されている方達によって書かれ、常に日常臨床の現場において活用されやすいように企画された本である。そのシリーズにこのたび、『超音波エキスパート 10 血管エコーレポート集』が出版された。これまで本シリーズでは、血管にかかわる内容の『1 頸動脈・下肢動静脈超音波検査の進め方と評価法』『6 下肢静脈疾患と超音波検査の進め方』『9 末梢動脈疾患と超音波検査の進め方・評価』が出されてきたが、本書はこれらに次ぎ 4 冊目となる。

本書の特徴は、とにかく臨床の現場での使いやすさにこだわったレポート集ということであり、この本にかかわっている血管領域のスペシャリストの方達の考え方や伝え方などが、我々読み手に十分伝わるものとなっている。これまでこういった本の多くは、おもに特徴的な疾患やその概念の他、どのように検査を行うかといった方法論について書かれたものが主流であり、この本のように検者の考え方や実際に用いられている合理的な報告方法がぎっしり詰まった本は大変珍しく、そのアイデアに思わず“さすが!!”と声をあげてしまうほどである。

本書にはほぼ全身の血管系が網羅されており、その中にはどのようなことを考え、また、注意しながらレポートを作成すればよいかという超音波所見のポイントが多く掲載されている。したがって、この本を常に傍らに置いて、記載すべき事柄を参考にしながら報告書などを作成することによって、次第により良い報告方法を身につけることができるものと思われる。端的に言えば、本書があれば血管領域のレポートの書き方の多くが学べてしまうといっても過言ではないだろう。

また、私は現在、乳腺診療に特化した検査に携わらせていただいているが、この本は我々のような門外漢から見ても、学ぶべき工夫がたくさん散りばめら

れている。なかでも特筆すべきは、本書の特徴的な構成にあるものと思われる。本書は 1 症例につき見開き 2 ページで構成されており、左ページには大きなシェーマのついた報告書が掲載され、どの部分にどのような病変があるのかがとてもわかりやすく表示されている。右ページには記録画像などが載せられているのだが、ここに掲載されている症例の写真は、さすがプロカメラマンとしてもご活躍されている佐藤先生の編集ならではのものであり、各疾患の特徴をよくとらえていてとてもわかりやすく、この写真を見るだけでもこの本の価値があるものと考えている。

また、近年電子カルテ化のようにレポートシステムを構築しなければならない施設も増えてきており、多くの医療施設においてどのような報告形態がもっとも理想的なのかを考えなければいけない時期にきている。このような時に、見開き 2 ページを利用してすべてを網羅したこの報告形式は、とても参考になるだろう。

序文には、血管領域において納得のできるレポートが少ない現実をみて、“我々が検査レポートの参考となるものを作らなければいけない”という思いから本書が生まれたとのこととともに、本書の参考に『超音波エキスパート 8 乳房疾患超音波画像集』をあげていただき、そこにかかわらせていただいた一人として感銘を受け、また大変光栄に感じている。

本書は、血管領域の検査を担当されている方はもちろんのこと、他の領域においても超音波検査に携わっている方、また、院内のシステムなどをご担当されている方など、多くの方達にお勧めする一冊である。

(札幌ことに乳腺クリニック 白井秀明)

<A4 判変/148 頁/定価 5,040 円 (本体 4,800 円 + 税 5%) / 医歯薬出版/2011>